

【現在の状況】

◆ 大阪府の感染状況は、確保病床占有率及び重症病床占有率、人口10万人あたりの療養者数、陽性率等、ほとんどの指標が**ステージⅢの目安を下回っている**。

◆ しかし、以下のとおり、足元の数値は、**感染拡大の兆候が見られる**。

- ・ 7日間毎の新規陽性者数は直近2週間連続で増加（直近1週間の増加幅：1.15倍）
- ・ 特に、直近では若者の感染が拡大（直近1週間の増加幅 20代：1.26倍、30代：1.24倍）
- ・ 大阪市内居住者の新規陽性者数が、ステージⅢ（10万人あたり15人）の目安と同等（14.58人）
- ・ 直近数週間においては、人流が大幅に増加
6月21日からの人流は、前回のまん延防止措置前（3月）の水準にほぼ戻っている。
（1日平均の滞在人口 梅田：96.5%、なんば：93.4%）

◆ 7月末を目標としている、**高齢者のワクチン接種が完了していない**。

感染拡大を抑えるため、引き続き、徹底した感染防止対策が必要

大阪府域に係る「まん延防止等重点措置を実施すべき期間」を延長されるよう、国に対し、新型インフルエンザ等対策特別措置法第31条の4第6項に基づき、要請する